

事務事業の概要							
1	事務事業名	植山古墳公園整備事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施 策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	1	特色ある都市公園の整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項 目					
		改 革 名					
6	予算事業名	都市公園事業費					
7	事業開始年度	平成 15 年度	事業終了年度	平成 34 年度			
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	本公園は、地域住民が日常的に利用できる公園整備を行うと同時に、植山古墳の持つ学術的・文化的価値を修復・復元整備することで、観光客誘致も視野に入れた近隣公園として整備する。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		公園内の古墳の整備は、文化財課と調整しながら行っており、文化財保護の観点から都市公園事業についても連携を図りつつ早期の供用開始をはかる。					
11	事業の内容(手法)	本公園は、橿原市の南東部に位置し、市民や広域から訪れる人々が史跡・文化財に親しくふれあい、学ぶことができる公園として、また地域住民の憩いの場として、史跡と一体になった公園として整備するものである。主要施設として、散策広場、多目的広場、墳丘の整備等を行う。事業は文化財課事業と併せて施工していく。					
		平成30年度からの拡充・変更内容 (予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 植山古墳公園 進捗面積 (ha)	1.41	2.5	2.5	2.5	
		② 植山古墳公園 用地買収進捗面積	10974	10974	10974	10974	
13	コストの推移 (単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		25,578	26,578	26,595	41,609	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	22,800	23,750	23,750	38,000	
(a) - (b) = 一般財源		2,778	2,828	2,845	3,609		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	檀原運動公園整備事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	1	特色ある都市公園の整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	都市公園事業費					
7	事業開始年度	平成 10 年度	事業終了年度	平成 31 年度			
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	市民の日常的スポーツ施設とレクリエーション施設を有する総合公園にふさわしい施設整備を行うとともに、広域避難地としての防災機能を高める。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		檀原運動公園施設の経年劣化に伴い施設の更新が必要となっている。現在検討中の事案として、多目的広場の改修、硬式野球場施設改修等がある。					
11	事業の内容(手法)	<p><多目的グラウンド整備>平成31年度全国中学校体育大会 第50回全国中学校サッカー大会に向けた施設整備として、芝と水はけ状態の改善を行う。また、新たに芝生のサッカーコートを複数面整備する。</p> <p><硬式野球場整備>野球場利用者のための施設を改修する。</p>					
		平成30年度からの拡充・変更内容 (予算措置を必要とするものに限り)	平成30年度 多目的グラウンド整備関係 平成31年度 硬式野球場整備関係				
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	①	—				
		②	—				
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		148,000	186,653	80,000		
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	139,800	114,000	76,000		
(a) - (b) = 一般財源		8,200	72,653	4,000	0		
14	増額理由	継続事業					
備 考							
平成30年度には、檀原運動公園 公社土地買戻し事業 66,651,342円含む							

事務事業の概要							
1	事務事業名	ふれあいの里管理業務					
2	担当部名	魅力創造部	担当課名	産業振興課	課長名	北野 哲也	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	2	新沢千塚古墳群公園の重点的整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	新沢千塚古墳群公園管理運営費					
7	事業開始年度	平成 28 年度	事業終了年度	平成	年度		
事務事業の実施							
8	対象	市民 農事組合法人					
9	事業の目的	地元で作られた農作物を、地元の市民に提供する所謂、地産地消の推進を目指すと同時に、地元の活性化の為、寄与する事を目的とする。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		平成28年4月にオープンした施設であり、今後の公園整備完了並びに施設に併設された直売所、農事組合法人「新沢千塚ふれあいの里」の経営安定に併せて、施設の管理を行う。					
11	事業の内容(手法)	地元で作られた農作物を、地元の市民に提供する所謂、地産地消の推進を目指すと同時に、地元の活性化の為、寄与する事を目的とする。					
		平成30年度からの拡充・変更内容 (予算措置を必要とするものに限り)	新沢千塚古墳群公園南群の公園施設の完成に伴い、人工的に小川を再現する施設の設置により、電気・水道料金の増加が予想される。また、建物施設の適切な維持管理の為、建物維持修繕料が必要である。				
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 来客者数	45000	45000	45000	45000	
		②					
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		9,307	9,896	9,896	9,896	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	27	27	27	27	
(a) - (b) = 一般財源		9,280	9,869	9,869	9,869		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	新沢千塚古墳群公園管理運営事業					
2	担当部名	総合政策部	担当課名	千塚周辺整備課	課長名	砂田 昌克	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	2	新沢千塚古墳群公園の重点的整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	新沢千塚古墳群公園管理運営費					
7	事業開始年度	平成 25 年度	事業終了年度	平成	年度		
事務事業の実施							
8	対象	市民					
9	事業の目的	市民の健康増進、交流促進、環境意識の向上や観光振興に寄与するため、新沢千塚古墳群公園を健全に機能させる。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		公園内の老朽化している施設の補修、改修を実施する。また、整備が完了した施設の維持管理業務を実施する。					
11	事業の内容(手法)	史跡と一体となった歴史学習の場として、老朽箇所の修繕補修、広場の芝刈り、園路等の草刈業務を実施する。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限り)	平成29年度で整備が完了する新沢千塚古墳群(南群)公園の管理業務等。				
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	①					
		②					
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		18,573	12,097	12,776	15,482	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		18,573	12,097	12,776	15,482		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	新沢千塚古墳群公園整備事業					
2	担当部名	総合政策部	担当課名	千塚周辺整備課	課長名	砂田 昌克	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	2	新沢千塚古墳群公園の重点的整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	新沢千塚古墳群公園整備事業費					
7	事業開始年度	平成 25 年度	事業終了年度	平成 31 年度			
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	市民の健康増進、交流促進、環境意識の向上や観光振興に寄与するため、新沢千塚古墳群公園の公園整備や周辺施設を整備する。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながらかける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		より多くの公園利用者の利便性や安全性の向上を図るため、事業の早期完成を目指す。					
11	事業の内容(手法)	平成30年度は、都市計画区域の変更に伴う公園整備、進入路2駐車場整備、ガイダンス施設改修、歩道橋耐震補強・補修、案内看板整備等を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	①					
		②					
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		575,810	349,833	62,118	-	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	243,760	96,729	25,696	-	
(a) - (b) = 一般財源		332,050	253,104	36,422	#VALUE!		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要								
1	事務事業名	緑化推進啓発事業						
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施 策	7	緑豊かな憩いの場の整備				
		今後の取組	3	公園の維持・管理運営への住民参加の促進				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項 目						
		改 革 名						
6	予算事業名	緑化推進事業費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	市民、地元自治会等						
9	事業の目的	市民に対し、緑化することの大切さをアピールし、個人や地域に自発的な緑化の取り組みを促し、環境保全、緑化推進を図る。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		自治会等による地域主体の緑化活動に、より積極的な技術的、物質的支援を行い、市民との協働による持続可能な緑化推進に取り組む。						
11	事業の内容(手法)	地域における緑化活動の助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花が楽しめるよう取り組む。花苗、苗木、種子等を配布する援助を行い、市民との協働による緑の公共空間の形成を図る。						
		平成30年度からの拡充・変更内容 (予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標	—						
	活動指標	① 花苗、苗木、種子等配布団体数	10	16	16	16		
		②						
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		178	178	180	181		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
(a) - (b) = 一般財源		178	178	180	181			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要							
1	事務事業名	児童公園管理事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施 策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	3	公園の維持・管理運営への住民参加の促進			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項 目					
		改 革 名					
6	予算事業名	児童公園管理費					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象	公園利用者					
9	事業の目的	誰もが安心して遊べる公園、また災害時の避難場所としての役割を持つ公園を、地域コミュニティの場として機能させる。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		公園施設長寿命化計画に基づいた計画的な施設修繕に取り組むとともに、自治会、ボランティア団体、NPO法人等との協働による管理体制を推進し、住民に広く親しまれるように取り組む。					
11	事業の内容(手法)	市内247ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、地元自治会と公園管理協定を締結することで、日常の簡易な清掃・草引き等を地元自治会等で取り組んでいただき、市民と協働して公園の維持管理を行う。					
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標	—					
	活動指標	① 公園管理協定締結公園数	182	183	184	185	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		66,748	66,863	65,631	66,175	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		66,748	66,863	65,631	66,175	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	公園施設長寿命化・バリアフリー化事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施 策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	4	既設公園の長寿命化・バリアフリー化の推進			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項 目					
		改 革 名					
6	予算事業名	都市公園事業費					
7	事業開始年度	平成 20 年度	事業終了年度	平成	年度		
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	国からの補助である、都市公園安全・安心対策事業を利用し、市内公園内の施設の長寿命化に向けて、公園施設の整備を進める。また、公園施設のバリアフリー化を進めるとともに、地域住民が交流を深める場としてのまちづくりを推進するために、市内公園施設の長寿命化を図る。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		策定された公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の機能保全や、安全性確保の支障となる劣化・損傷を未然に防止する。また、公園施設のバリアフリー化を進めるとともに、地域住民が交流を深める場としてのまちづくりを推進するために、市内公園施設の長寿命化を図る。					
11	事業の内容(手法)	公園施設長寿命化計画に基づき、改善が必要となった遊具等の公園施設を、公園施設長寿命化対策支援事業の補助を得て、順次、改築・更新を実施し、公園施設の長寿命化を図る。また、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を利用し、公園施設のバリアフリー化の検討を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 公園施設更新	50	50	50	50	
		② バリアフリー化	10	10	10	10	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		41,748	70,548	80,555	73,809	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	38,800	62,000	71,500	66,500	
(a) - (b) = 一般財源		2,948	8,548	9,055	7,309		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	環境保全事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施 策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組	5	緑の保全と緑化の推進			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項 目					
		改 革 名					
6	予算事業名	緑化推進事業費					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象	飛鳥川堤桜並木、檀原神宮参道の森の景観を楽しむ人					
9	事業の目的	飛鳥川堤桜並木、檀原神宮参道の森の環境保全を図る。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		環境保全活動の効果的な展開を研究しつつ、事業を継続して取り組む。					
11	事業の内容(手法)	飛鳥川堤桜並木の下草刈、清掃等による桜維持管理業務をシルバー人材センターとの委託契約により実施する。また、檀原神宮参道沿いの植栽剪定や、草刈等の取り組みを行う参道の森環境美化協議会に交付金を交付し活動を支援する。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標	—					
	活動指標	① 参道の森環境美化協議会総会出席回数	1	1	1	1	
		② —					
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		3,144	3,144	3,153	3,162	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		3,144	3,144	3,153	3,162		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	東竹田近隣公園管理運営事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	鈴木 尚	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備			
		今後の取組					
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	東竹田近隣公園管理運営費					
7	事業開始年度	平成 22 年度	事業終了年度	平成	年度		
事務事業の実施							
8	対象	公園利用者					
9	事業の目的	誰もが安心して遊べる公園、また災害時の避難場所としての役割を持つ公園を、地域コミュニティの場として機能させる。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
11	事業の内容(手法)						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標	—					
	活動指標	①	—				
		②	—				
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		0				
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0		
14	増額理由	継続事業					
備 考							